

コーディネーター研修

R 3.6.9 (水) : 浜田合庁

<講義 (リモート)> 「『地域と学校の連携・協働』のこれから」

講師：下関市立大学 准教授 天野かおり さん

時代の変化に伴い学校と地域の在り方が変化してきた

国の施策から

文部科学省では、学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組む「**コミュニティ・スクール**」と学校と地域が相互にパートナーとして行う「**地域学校協働活動**」の一体的な実施を推進している

めざすのは、
「**地域とともにある学校づくり**」「**学校を核とした地域づくり**」の実現

求められるものとは…

- ◇これからの時代を生き抜く力の育成（学校だけでは得られない知識・経験・能力のためのもの・ことを地域でどれだけ用意できるか）
- ◇地域住民が自ら地域を創っていくという「主体的な意識」への転換

生涯学習・社会教育の視点から

「社会教育」を基盤とした

- ①人づくり → 住民個人々人を人材として育てる
- ②つながりづくり → 住民相互のつながりをつくる
- ③地域づくり → 住民と地域社会を結びつける

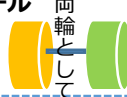
地域課題に取り組む人のネットワーク化

「**学びと活動の循環**」の形成、それを**地域づくり**へ（自己実現と社会貢献・地域課題解決）

地域の人の力を結集する環境を醸成

コミュニティ・スクール

地域とともにある学校づくり



地域学校協働本部

学校を核とした地域づくり

コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の関係

学校と地域による、役割と責任の分かち合い、目標の共有

地域学校協働活動とは…

幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動

地域学校協働本部とは…

幅広い地域住民や団体等の参画により形成された**緩やかなネットワーク**
核となるのがコーディネーター

本部の3つの要素（①コーディネート機能 ②多様な活動 ③継続的な活動）

* これまで行われてきた「学校支援本部事業」の課題をふまえて行う地域学校協働活動とは、

1. 「支援」から「連携・協働」へ
地域の一方的な応援・支援の活動から、地域が学校と目標を共有し行う双方向の活動へ
2. 「個別の活動」から「総合化・ネットワーク化」へ（横の連携を）
3. コーディネート機能の充実
コーディネート機能の大部分を特定の個人に依存してきたが、持続可能な機能充実を図る

地域とともにある学校づくり

コーディネーターに期待される役割

2011.3の東日本大震災を契機に、学校と地域の連携にとどまらない関係が問われている

「地域とともにある学校づくりの推進方策」の学校運営の3つの視点

- ・「子どもの育ちの場」としての学校
- ・「大人の学びの場」となる学校…互いにフラットな関係で合意形成を学ぶ場
- ・「地域づくり」の核となる学校…地域コミュニティが結びつきを深める場
地域の課題を解決するための「協働の場」

<実践発表> 美郷町 地域学校協働活動の取組「どうか間に入らせてください！」

地域学校支援コーディネーター（大和地区担当）

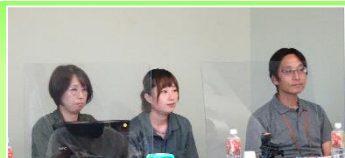
森下 奈保子 さん

地域学校支援コーディネーター（邑智地区担当）

原田 羽留奈 さん

美郷町教育委員会派遣社会教育主事

藤住 亨 さん



1. 勤務形態、業務内容

○コーディネーターとして、何かあるときだけ学校へ行く日々

- ・学校の実情がつかめない
- ・お客さん扱い
- ・一緒にすすめていきたいのに

学校に入りたい！

2人の強い思いが
周囲を動かし

入って
気づいたこと

先生って忙しい！

先生たちは、地域の「ひと、もの、こと」について知りたいと思っている

週3日 学校に
席を置くことに！

とはいえ、最初は…
う〜ん 何をしたらいいの

少しずつ、図書室にそして外に出ることで、話を聞いてくれる人ができ、理解者・協力者が増えていきました！



- ・先生や子どもたちとのコミュニケーションが増えた
- ・先生の都合のいい時間に活動の打ち合わせができる
- ・学習全体の流れが把握できる（地域の人に伝える情報増えた）
- ・先生から相談がある

2. 支援活動のようす

ミツバチ学習での蜜絞り体験

消防署とのコラボ企画

地域と学校をつなぎ
公民館と学校をつなぐ

総合学習
地域めぐりで牧場見学

郷土出身画家の
生家見学

昨年度始まった活動

教頭先生が心強い味方に

自分たちも楽しむ♪

大きな変容ではないが、楽しかった、またやってみようを積み重ねることが大切

邑智地域
山くじら学習

ふるさと学習
総合的な学習の時間

大和地域
江の川の漁業

江の川ことについて取り組みたい（先生）
川の魅力や“やな漁”を子どもに伝えたかった（地域）

- ・活動の様子を知ってもらえうれしい
- ・子どもが学んだことが家族に伝わる、知識の波及がある（地域）



3. コーディネーターとして

心がけていること

- ・地域に出掛ける！
- ・「打ち合わせ+振り返り」をする
- ・その日のモヤモヤは、その日のうちに晴らす！

4. 行政担当者・派遣社会 教育主事として

事例は、コーディネーターなしではできていない。関係者探しから始まった。私は、コーディネーターの応援者、伴奏者として、一緒に悩み盛り上がり、打ち合わせや振り返りには同席し、課題、成功理由を共有してきた。二人をみてよいなあ〜と思うことは、想いを聴く、知る、共感して関係者を大切にしていること、相談しやすい、依頼しやすい良好な関係性を築いていることだ。

<演習> 「取り入れよう！明日からのコーディネートに向けて」

* 事前アンケートによりグループ分け（関係づくり・活動づくり・地域づくり）

□講義・実践発表を通して「自分もとりたいいな。」と思ったことを紹介しあう

□一部のグループに発表してもらう

- ・学びと活動の循環
- ・目的、ビジョンをもつ
- ・地域にでかける
- ・関係性を築く
- ・役割分担
- ・学校内に発信コーナーを
- ・個のパワーとつながりのパワー
- ・地域の人を知る
- ・学校の中に居場所がある
- ・楽しい
- ・大きな展望
- ・広い視野

出た意見

□どうすれば実現できるか話し合う

- ・学校に足を運ぶ
- ・高校生、大学生を巻き込みたい
- ・じっくりと話す時間をとる
- ・アンテナを張る
- ・職場体験は、魅力的な人と関わらせる
- ・「もうちょっとやりたい」をつくる
- ・信頼関係を築き地域とつながる
- ・ねらいの共有
- ・地域行事に入っていく
- ・子どもの声をひろう

出た意見



<全体講評>

下関市立大学 准教授 天野かおり さん

○**つながりをつくる**…関係づくりを進めることが地域学校協働本部をつくることになる。さまざまなコーディネーターをつなぐことは難しいので、ぜひ教育委員会が支援してほしい。

○**ねらいを共有する**…学校サイドが地域の人に教育課程を示す必要がある。その場合、説明できるチカラが必要で、覚悟を持って開いてほしい。ねらいを共有していれば一緒に活動しなくても、学校がやれること、地域の側で引き取って

やれることの役割分担をすればよい。

○**先生を住む地域にかえす**…いつも一緒にやるのが協働ではない。先生は地元で活動し、地域の感覚を養ってほしい。

○**課題設定は困っていることを出発点に**…できることは自然にひろがっていく。

○**今の子どもたちの声を大切に**…大人だけが地域づくりをするのではない。大人と子どもと一緒に学び合うことが大切である。